【情報公開文書】

作成日2026年9月30日

受付番号： 第 S2026-049 番

課題名：矯正歯科患者における顔面非対称の客観的評価と自覚症状との関連に関する後ろ向き観察研究

１．研究の対象

2015 年 4 月から 2026 年 9 月に、東京科学大学病院矯正歯科外来において矯正歯科前検査を受けた患者さんへ

２．研究期間

研究実施許可日～2031 年 3 月 31 日

３．試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日： 2027 年 1 月 1 日

提供開始予定日： 該当なし

４．研究目的

この研究では、矯正歯科を受診した患者さんを対象に、実際の顔やあごの左右差と、患者さん自身が感じている「顔のゆがみ」や「左右差」の自覚との関係を明らかにすることを目的としています。

具体的には、X 線写真や顔貌写真を用いて、下あごの左右へのずれ、かみ合わせの傾き、顔の軟らかい組織の左右差などを調べ、それらが患者さん自身の顔面非対称の自覚とどのように関係しているかを検討します。

この研究により、画像上で確認される顔やあごの左右差と、患者さんが実際に感じている見た目の左右差との関係を明らかにすることで、矯正歯科診療における診断や患者さんへの説明、治療計画の立案に役立つ知見が得られることが期待されます。

５．研究方法

東京科学大学病院矯正歯科外来を受診し、矯正歯科診断のための検査を受けた患者さんのうち、研究の条件を満たす約 400 名を対象とします。本研究は、すでに診療の中で得られている情報を利用する後ろ向き研究です。新たな検査や X 線撮影、写真撮影を行うことはありません。診療録、頭部 X 線規格写真、顔貌写真などから必要な情報を収集し、下あごの左右へのず

れ、かみ合わせの傾き、顔貌上の左右差などを計測します。また、診療時に記録された顔面の左右差に関する患者さん自身の自覚症状との関連を統計学的に検討します。
研究用のデータを作成する際には、個人が直接特定できないように情報を加工し、研究専用の番号を付けて管理します。

６．研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、血液や唾液などの試料は使用しません。
使用する情報は以下のとおりです。

- 年齢、性別などの基本情報
- 顔面の左右差に関する自覚症状
- 頬杖、寝るときの顔の向き、食事の際のかみ癖、歯の接触癖、顎関節症状、開口時の下あごのずれなどの診療記録
- 正面頭部Ｘ線規格写真
- 側面頭部Ｘ線規格写真
- 顔貌写真

７．外部への試料・情報の提供

該当なし

８．研究組織

本学単独研究

９．利益相反（企業等との利害関係）について

利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。本研究は科学研究費助成を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

１０．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究

計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
担当者の所属・氏名：東京科学大学病院　矯正歯科外来　加藤千帆
連絡先：03-5803-4146
当院の研究責任者：　東京科学大学病院　矯正歯科外来　加藤千帆

１１．苦情窓口

東京科学大学　研究推進部研究基盤推進課　生命倫理グループ
03-5803-4547（対応可能時間帯：平日9:00～17:00）